保護関係のフェイルオーバーとフェイルバックを実行する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/data-protection/task_perform_protection_relationship_failover_and_failback.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

保護関係のフェイルオーバーとフェイルバックを実行する 1
Active IQ Unified Manager で保護関係のフェイルオーバーとフェイルバックを実行する 1
Active IQ Unified Manager のボリューム／ヘルスページから SnapMirror 保護関係を解除する 2
Active IQ Unified Manager のボリューム／健全性の詳細ページから保護関係を反転する 2
Active IQ Unified Manager のボリューム/ヘルス詳細ページから保護関係を削除する 3
Active IQ Unified Manager のボリューム/ヘルス詳細ページから保護関係を再同期する 4

保護関係のフェイルオーバーとフェイルバックを実行する

Active IQ Unified Manager で保護関係のフェイルオーバーとフェイルバックを実行する

ハードウェア障害や災害が原因で保護関係のソース ボリュームが無効になっている場合は、Unified Managerの保護関係機能を使用して、保護デスティネーションに読み取り / 書き込みアクセスを設定し、ソースが再びオンラインになるまでそのボリュームにフェイルオーバーすることができます。さらに、元のソースがデータを提供できるようになった時点で、ソースにフェイルバックすることができます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- この処理を実行するには、OnCommand Workflow Automationをセットアップしておく必要があります。

手順

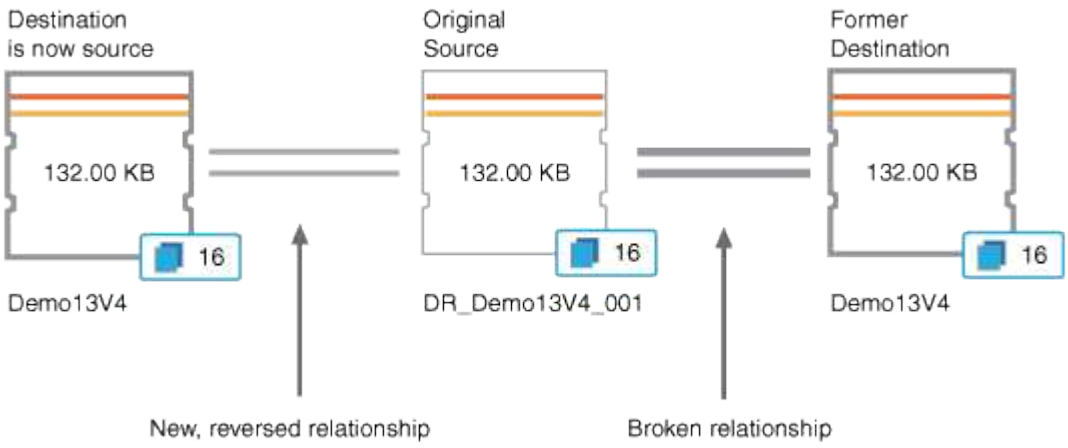
1. "SnapMirror関係の解除"。

   デスティネーションをデータ保護ボリュームから読み取り / 書き込みボリュームに変換する前、および関係を反転する前に、関係を解除する必要があります。

2. "保護関係を逆転させる"。

   元のソース ボリュームが再び使用可能になったら、ソース ボリュームをリストアして元の保護関係を再確立できます。ソースをリストアする前に、以前のデスティネーションに書き込まれたデータとソースを同期させる必要があります。逆再同期処理を使用して新しい保護関係を作成するには、元の関係のロールを反転し、ソース ボリュームと以前のデスティネーションを同期させます。新しい関係に対して新しいベースラインSnapshotコピーが作成されます。

   反転関係は、カスケード関係に似ています。



3. "反転されたSnapMirror関係をブレイクします"。

元のソース ボリュームが再同期され、再びデータを提供できるようになったら、解除処理を使用して反転関係を解除します。

4. "関係を削除する"。

   反転関係が不要になったときは、元の関係を再確立する前に反転関係を削除する必要があります。

5. "関係を再同期する"。

   再同期処理を使用して、ソースからデスティネーションにデータを同期し、元の関係を再確立します。

Active IQ Unified Manager のボリューム／ヘルスページから SnapMirror 保護関係を解除する

[ボリューム / 健全性の詳細]ページで保護関係を解除することで、SnapMirror関係にあるソース ボリュームとデスティネーション ボリュームの間のデータ転送を停止することができます。関係の解除は、データを移行する場合のほか、ディザスタ リカバリやアプリケーションのテストなどの目的で行うことがあります。デスティネーション ボリュームは読み書き可能ボリュームに変わります。SnapVault関係を解除することはできません。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- Workflow Automationのセットアップが完了している必要があります。

手順

1. ボリューム / ヘルス 詳細ページの 保護 タブで、トポロジから切断する SnapMirror 関係を選択します。
2. 宛先を右クリックし、メニューから「Break」を選択します。

   [関係の解除]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 関係を解消するには、*続行*をクリックしてください。
4. トポロジで、関係が解除されていることを確認します。

Active IQ Unified Manager のボリューム／健全性の詳細ページから保護関係を反転する

災害によって保護関係のソース ボリュームが機能しなくなった場合は、ソースの修理や交換を行う間、デスティネーション ボリュームを読み書き可能に変換してデータの提供を継続することができます。ソースがデータを受信できる状態に戻ったら、逆再同期処理を使用して逆方向の関係を確立し、ソースのデータを読み書き可能なデスティネーションのデータと同期できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- Workflow Automationのセットアップが完了している必要があります。

- SnapVault関係については実行できません。
- 保護関係がすでに存在している必要があります。
- 保護関係が解除されている必要があります。
- ソースとデスティネーションの両方がオンラインになっている必要があります。
- ソースが別のデータ保護ボリュームのデスティネーションになっている場合は実行できません。
- このタスクを実行すると、共通のSnapshotコピーのデータよりも新しいソースのデータは削除されます。
- 逆再同期した関係に対して作成されるポリシーとスケジュールは、元の保護関係と同じになります。

  ポリシーとスケジュールが存在しない場合は作成されます。

手順

1. ボリューム / ヘルス 詳細ページの 保護 タブから、トポロジー内でソースと宛先を反転させたい SnapMirror リレーションシップを見つけて右クリックします。
2. メニューから「逆再同期」を選択します。

   [逆再同期]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 「逆再同期」ダイアログボックスに表示されている関係が、逆再同期操作を実行する関係であることを確認し、「送信」をクリックします。

   [逆再同期]ダイアログ ボックスが閉じて、[ボリューム / 健全性の詳細]ページの上部にジョブのリンクが表示されます。

4. オプション： *ボリューム / ヘルス*詳細ページで*ジョブの表示*をクリックすると、各逆再同期ジョブのステータスを追跡できます。

   フィルタリングされたジョブのリストが表示されます。

5. オプション： ブラウザの 戻る 矢印をクリックして、ボリューム / ヘルス の詳細ページに戻ります。

   すべてのタスクが正常に完了すれば逆再同期処理は終了です。

Active IQ Unified Manager のボリューム/ヘルス詳細ページから保護関係を削除する

保護関係を削除すると、選択したソースとデスティネーションの間の既存の関係を完全に削除することができます。これは、たとえば別のデスティネーションを使用して関係を作成する場合などに行います。この処理ではすべてのメタデータが削除され、元に戻すことはできません。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- Workflow Automationのセットアップが完了している必要があります。

手順

1. ボリューム / ヘルス 詳細ページの 保護 タブで、トポロジから削除する SnapMirror 関係を選択します。
2. デスティネーションの名前を右クリックし、メニューから「削除」を選択します。

   [関係の削除]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 関係を解除するには、*続行*をクリックしてください。

   関係が[ボリューム / 健全性の詳細]ページから削除されます。

Active IQ Unified Manager のボリューム/ヘルス詳細ページから保護関係を再同期する

SnapMirror関係やSnapVault関係を解除してデスティネーションが読み書き可能になったあとに、ソースのデータとデスティネーションのデータが一致するようにデータを再同期することができます。再同期は、必要な共通のSnapshotコピーがソース ボリュームで削除されたためにSnapMirrorやSnapVaultの更新が失敗する場合にも実行することがあります。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- OnCommand Workflow Automationのセットアップが完了している必要があります。

手順

1. **Volume / Health** の詳細ページの **Protection** タブから、トポロジ内で再同期する保護関係を見つけて右クリックします。
2. メニューから「再同期」を選択してください。

   または、**Actions** メニューから **Relationship** > **Resynchronize** を選択して、現在詳細を表示している関係を再同期します。

   [再同期]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 「再同期オプション」タブで、転送優先度と最大転送速度を選択します。
4. 「ソーススナップショットコピー」をクリックし、次に「スナップショットコピー」列で「デフォルト」をクリックします。

   [ソース Snapshot コピーの選択]ダイアログ ボックスが表示されます。

5. デフォルトの Snapshot コピーを転送するのではなく、既存の Snapshot コピーを指定する場合は、*既存の Snapshot コピー*をクリックし、リストから Snapshot コピーを選択してください。
6. 「送信」をクリックしてください。

   [再同期]ダイアログ ボックスに戻ります。

7. 複数のソースを再同期するように選択した場合は、既存の Snapshot コピーを指定する次のソースの デフォルト をクリックしてください。

8. *送信*をクリックして、再同期処理を開始してください。

   再同期ジョブが開始されると、[ボリューム / 健全性の詳細]ページに戻り、ページの上部にジョブのリンクが表示されます。

9. オプション： ボリューム / ヘルスの詳細 ページで ジョブの表示 をクリックすると、各再同期ジョブのステータスを追跡できます。

   フィルタリングされたジョブのリストが表示されます。

10. オプション： ブラウザの 戻る 矢印をクリックして、ボリューム / ヘルス の詳細ページに戻ります。

    すべてのタスクが正常に完了すれば再同期ジョブは終了です。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。